

❖ お薬手帳用シールの例

副作用に注意

めったに起こりませんが、血液中の乳酸の量が多くなる乳酸アシドーシスという副作用があります。
吐き気、腹痛、下痢、倦怠感、筋肉痛などの症状が現れた場合は、念のため医師に相談してください。

食事や運動にも気をつけて

糖尿病治療の基本は食事療法・運動療法です。薬を飲んでいるからといっておろそかにしてはいけません。
お薬とともに食事療法・運動療法も続けることが大切です。

消化器症状に注意

下痢や軟便、吐き気などが現れることがあります。
お薬を飲み始めたときに起こりやすく、次第に軽くなることも多いのであまり心配はいりませんが、何かおかしいと感じた場合は医師に相談してください。

シックデイ（他の病気になったとき）の注意

発熱、下痢、嘔吐、または食欲不振で食事が摂れない場合など、シックデイのときには服薬の一時中止が必要になることがあります。
シックデイの対応について、あらかじめ医師に確認しておきましょう。
自己判断でお薬を中止したり、量を減らしたりすることは絶対にしないでください。

お酒はほどほどに

アルコールを摂りすぎると肝臓の働きが悪化して、副作用が起こりやすくなってしまいます。
お酒は適量を心がけましょう。
肝疾患のある人は、ぜひ禁酒を。

水分補給をしっかりと

脱水症状が副作用を招く要因となることがあります。
発熱、下痢、嘔吐などがあるときはもちろんのこと、日常生活でも適度な水分摂取を心がけて脱水を予防しましょう。外気温が高いときには特に注意してください。

低血糖に注意

このお薬だけで起きることはまれですが、インスリンや他の糖尿病治療薬と併用すると低血糖が起きる可能性が高まります。
強い空腹感、冷汗、ふるえ、目のちらつきなど、低血糖症状に注意しましょう。
万が一このような症状が起こった場合は、すぐにブドウ糖を摂取してください。

OTC医薬品を買うときは

解熱鎮痛薬やかぜ薬に配合されているアスピリンは、このお薬の作用を強める働きがあります。購入するときは薬剤師に相談し、アスピリンの配合されたものは避けてください。